

みなで考え 大きな輪に

日本ペンクラブは国際ペンのいわば日本支部ですが、国際ペンというのは第1次世界大戦後、言論・表現の自由の制限が戦争を招いた、平和のために言論・表現の自由を守っていく、と考えた人々によってつくられました。ペンクラブの使命を考えたととき、共謀罪法案は見過ぎすことのできない大問題です。

世の中の人が考えているよりもっともつと大変な問題だと思つたのです。が、北朝鮮やなんやらに報道の時間がとられ、国民の目が共謀罪に集中していないことを懸念して



日本ペンクラブ会長・作家

浅田 次郎さん

います。

人間はいずれ死にますが、法律は残ります。法律を作った人がいくらか「濫用はしない。きちんと反対の大きな輪にしてゆ」と言ったところ

ストップ

共謀罪

(7日のペンクラブ主催の集会から)

無意識に萎縮していく



作家 **雨宮 処凛**さん

の10年やってきて、本当に何もしていないのに目の前で逮捕者が出るというのを見てるので、共謀罪がなくても、運動の弾圧が進んでいるのに、これ以降どうなってしまうんだろというのが不安です。

この10年間、貧困問題を中心に、取材をしつつ、自分も活動家としてデモを主催してきました。一番の理由になるんじゃないかととても危惧しています。共謀罪がなくなつて沖縄で山城博治さんが9カ月も拘束されるといふことが実際にまかり通っています。フリーターのデモをこ

「こんなことをしたら、こんなこと言ったら、共謀罪になるかもしれない」と思う人は圧倒的多数です。自分が意識していなくても無意識に萎縮していくと思つてますよね。そのことを表現者として、活動家として言っ